

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

第1 概要

平成26年度の畜産を取り巻く情勢は、長期間にわたる配合飼料価格の高止まりに加え、円安等による生産資材の高騰により、畜産経営に大きな影響を与えてきた。一方、国内経済が緩やかな回復傾向が見られる中、消費動向は一部回復し、畜産の卸売価格も国内生産量の減少等の原因から、生乳を除いて堅調に推移してきた。しかしながら、天候や伝染病の影響に加え、畜産生産基盤の脆弱化が深刻な問題となり、今後も予断を許さない状況となっている。

また、日豪EPA(経済連携協定)が発効されたことにより食肉の関税率が低下し、交渉が継続しているTPP(環太平洋経済連携協定)は、依然行方が不透明であり、家畜衛生面では7年ぶりに発生したPED(豚流行性下痢)や4年ぶり国内で発生したHPAI(高病原性鳥インフルエンザ)、近隣諸国に常在した口蹄疫等、不安材料が存在している。

このような中、当協会は公益社団法人として2年目を迎えたが、会員団体や関係機関との有機的な連携を図り、公益目的事業1においては、子牛価格の高騰により肉用子牛生産者補給金は交付されない一方、肉用牛肥育経営安定特別対策においては、年間を通じて発動があり、月毎に補填金を交付する措置を続けてきた。

また、公益目的事業2においては、畜産経営面や家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行なうとともに、公益目的事業3において、畜産経営体支援、家畜防疫支援を実施し、本県における畜産振興を図ってきた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総会

(1) 定時総会 平成26年6月26日(木)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 平成25年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 監事辞任に伴う後任監事の選任に関する件

(2) 臨時総会 平成27年3月26日(木)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得るとともに、2項目について報告した。

議事

報告事項 平成26年度収支予算補正に関する件

平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件

第1号議案 平成27年度会費徴収に関する件

第2号議案 役員報酬に関する件

第3号議案 役員補欠選任に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成26年6月11日(月)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに、4項目について報告した。

議事

- 第1号議案 平成25年度事業報告及び決算書類の承認に関する件
- 第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件
- 第3号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第4号議案 経理規程の一部改正に関する件
- 第5号議案 監事の辞任に伴う後任監事に関する件
- 第6号議案 平成26年度定時総会開催に関する件
- 報告事項
 - ①会員の名称変更
 - ②役員賠償責任保険の契約
 - ③高橋養鶏賞の選考
 - ④業務執行状況

(2) 第2回理事会 平成26年10月1日(水)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議案

- 第1号議案 資金調達及び設備投資の承認に関する件

(3) 第3回理事会 平成27年3月16日(月)

大津橋ビル5階中会議室において、業務執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに、1項目について報告した。

議事

- 報告事項 職務執行状況に関する件
- 第1号議案 平成26年度収支予算補正に関する件
- 第2号議案 平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
- 第3号議案 平成27年度会費徴収に関する件
- 第4号議案 平成27年度歳計現金預入先に関する件
- 第5号議案 平成27年度一時借入金 of 最高限度額決定に関する件
- 第6号議案 役員 of 報酬に関する件
- 第7号議案 平成27年度予防注射料金に関する件
- 第8号議案 諸規程の一部改正に関する件
- 第9号議案 寄附金等取扱規程 of 制定に関する件
- 第10号議案 肉用子牛生産者補給金制度 of 事務委託団体 of 承認に関する件
- 第11号議案 肉用子牛生産者補給金制度 of 生産者負担金等 of 返還措置承認に関する件
- 第12号議案 肉用子牛生産者補給金制度 of 協会手数料承認に関する件
- 第13号議案 役員 of 補欠選任に関する件
- 第14号議案 臨時総会 of 招集に関する件

3. 監事会

定期監査 平成26年5月30日(金)

大津橋ビル5階小会議室において、平成25年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区 分	本年度当初 (26年4月1日)	増 減		本年度末 (27年3月31日)
		辞 任	就 任	
理 事	9	0	0	9
監 事	3	1	1	3

(26年6月30日監事1名辞任、26年7月1日監事1名就任)

(27年3月31日理事1名辞任、27年4月1日理事1名就任)

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員

年度末会員数：20会員

6. 職員数 (平成27年3月31日現在)

職 員 6名(出向職員1名< >内) 嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2 <1>	1	3 <1>
畜産振興課	2	2	4
総務管理課	1	—	1
計	6 <1>	3	9 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
26. 4. 21	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
26. 4. 30	名 古 屋 市	日豪EPA合意説明会
26. 5. 8～9	東 京 都	畜産特別資金全国会議
26. 5. 21	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会総会
26. 6. 6	名 古 屋 市	一般社団法人名古屋コーチン協会総会
26. 6. 13	岡 崎 市	愛知県家畜人工授精師協会総会
26. 6. 13	東 京 都	地域自衛防疫強化特別対策事業全国推進会議
26. 6. 18	東 京 都	馬飼養衛生管理特別対策等全国会議
26. 6. 18	東 京 都	農場HACCP認証普及推進事業全国推進会議
26. 6. 20	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会総会
26. 6. 24	東 京 都	一般社団法人全国肉用牛振興基金協会総会
26. 6. 25	東 京 都	公益社団法人中央畜産会総会
26. 6. 26	刈 谷 市	愛知県農業共済組合総会
26. 6. 27	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養豚協会総会
26. 7. 9	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
26. 7. 10～11	長 野 県	畜産特別資金ブロック会議
26. 7. 17～18	静 岡 県	東海4県衛生ブロック会議
26. 7. 23	幸 田 町	愛知県酪農農業協同組合総会
26. 8. 11	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業関東北陸東海ブロック会議
26. 9. 4	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
26. 9. 11～12	大 阪 市	肉用子牛運営適正化事業北陸東海近畿ブロック会議
26. 9. 17	刈 谷 市	畜産フェスタ会議
26. 9. 26	名 古 屋 市	東海地域生乳安全安心協議会
26. 10. 8・21	名 古 屋 市	畜産フェスタ会議
26. 10. 16～17	三 重 県	東海ブロック畜産協会連絡協議会
26. 10. 27	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会理事会

年 月 日	場 所	会 議 名 等
26. 10. 29	東 京 都	肉用子牛補給金制度全国推進会議
26. 11. 1	刈 谷 市	畜産フェスタ(刈谷ハイウェイオアシス)
26. 11. 13	東 京 都	畜産クラスター普及活動員研修
26. 11. 18	長 久 手 市	農林技術会議農業分科会
26. 11. 20	名 古 屋 市	畜産クラスター普及セミナー
26. 11. 25	岡 崎 市	生乳の安全安心愛知県地域協議会
26. 12. 1	美濃加茂市	飼料米利用実証研修会
26. 12. 4～5	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国統一電算処理システム研修会
26. 12. 9	東 京 都	中央畜産会管理責任者事務処理従事者研修
26. 12. 16	岡 崎 市	繁殖管理講習会
26. 12. 23	名 古 屋 市	畜産フェア(名古屋競馬場)
27. 1. 22	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
27. 1. 27～28	東 京 都	新統一電算システム経理研修
27. 2. 16	東 京 都	地方会員活動支援推進委員会
27. 2. 20	東 京 都	家畜互助基金支援事業中央推進会議
27. 2. 20	名 古 屋 市	東海地域成長化推進協議会・輸出促進協議会
27. 3. 10	岡 崎 市	死亡牛処理推進協議会
27. 3. 24	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会理事会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等にかかる状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付して、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構より生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

平成26年度は、子牛価格の高騰により補給金交付の発動はなかった。

- ・推進会議等 3回(平成26年5月27日、11月12日、平成27年2月18日 岡崎市)
 - ・事務委託先団体調査指導 53日延べ67団体
 - ・平成26年1月～12月個体登録頭数 9,978頭
(6ヶ月齢頭数)
- | | |
|--------|--------|
| ・肉専用種 | 970頭 |
| ・肉専その他 | 0頭 |
| ・交雑種 | 6,189頭 |
| ・乳用種 | 2,819頭 |

①生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 241者	内訳：個人経営 214者、組合法人 4者、会社法人 23者
------------	-------------------------------

②事務委託先

区 分	団 体 名
農 協 連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
そ の 他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③生産者積立金造成実績

(単位：円)

区 分	造 成 額 内 訳			合 計
	生産者負担金	県生産者積立助成金	機構生産者積立助成金	
黒毛和種	533,500	533,500	1,067,000	2,134,000
その他肉専用種	0	0	0	0
交 雑 種	7,736,250	7,736,250	15,472,500	30,945,000
乳 用 種	8,950,325	8,950,325	17,900,650	35,801,300
計	17,220,075	17,220,075	34,440,150	68,880,300

【生産者積立金単価】登録日：6月齢－1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	550	550	1,100	2,200
その他肉専用種	6,100	6,100	12,200	24,400
交 雑 種	1,250	1,250	2,500	5,000
乳 用 種	3,175	3,175	6,350	12,700

④生産者補給金交付実績

(単位：円)

区 分		1－3月期	4－6月期	7－9月期	10－12月期	計
黒	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
毛	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
他	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
交	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
雑	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
種	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
乳	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
用	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
種	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0
計	頭 数	0	0	0	0	0
	単 価	0	0	0	0	—
	金 額	0	0	0	0	0

参考：発動基準

(単位：円)

	黒毛和種	その他肉専用種	交 雑 種	乳 用 種
保証基準価格	329,000	215,000	195,000	128,000
合理化目標価格	275,000	145,000	143,000	87,000

イ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用子牛飼育経営体への補完事業として、肉用専用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に支援交付金を交付する事業であるが、26年度は発動がなかった。

- ・推進会議等 3回（平成26年5月27日、11月12日、平成27年2月18日 岡崎市）

参考：発動基準

（単位：円）

	黒毛和種	その他肉専用種
発動基準価格	420,000	280,000

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回る収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、全国統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。

また、生産者の肥育牛の個体登録、およびその販売確認等の効率かつ円滑な推進を図るため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施した。

なお、肉用牛経営は配合飼料を始めとした各種資材の高騰により、依然、経営環境が厳しい状況が続くため、引き続き四半期単位での補填業務を、月毎に交付する特例措置で行った。

- ・推進会議等 2回（平成26年5月27日、平成27年2月18日 岡崎市）
- ・調査指導等 指導会延べ13回、現地調査9回
- ・平成26年2月期～平成27年1月期 基金造成頭数 23,024 頭
肉専用種 3,792頭、交雑種 15,467頭、乳用種 3,765頭

①生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者 227者	内訳：個人経営 187者、組合法人 4者、会社法人 36者
------------	-------------------------------

②委託先契約締結状況

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③肉用牛肥育経営安定特別基金造成実績

【基金造成単価】

（単位：円）

	平成25年度			平成26年度			積立月 (達する月)
	生産者	機構	計	生産者	機構	計	
肉専用種	18,000	54,000	72,000	18,000	54,000	72,000	25ヵ月齢
交雑種	30,000	90,000	120,000	30,000	90,000	120,000	22ヵ月齢
乳用種	25,000	75,000	100,000	20,000	60,000	80,000	18ヵ月齢

(単位：頭、円)

区 分		H26.2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉用種	頭数	348	293	323	371	404
	金額	25,056,000	21,096,000	23,256,000	26,712,000	29,088,000
交雑種	頭数	1,164	1,168	1,122	1,428	1,496
	金額	138,780,000	139,440,000	134,610,000	171,150,000	179,160,000
乳用種	頭数	375	387	394	332	333
	金額	37,500,000	38,700,000	31,560,000	26,560,000	26,640,000
計	頭数	1,887	1,848	1,839	2,131	2,233
	金額	201,336,000	199,236,000	189,426,000	224,422,000	234,888,000

区 分		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期
肉用種	頭数	328	301	331	315	247
	金額	23,616,000	21,672,000	23,832,000	22,680,000	17,784,000
交雑種	頭数	1,363	1,372	1,302	1,370	1,238
	金額	163,560,000	164,640,000	156,240,000	164,400,000	148,560,000
乳用種	頭数	299	227	298	220	206
	金額	23,920,000	18,160,000	23,840,000	17,600,000	16,480,000
計	頭数	1,990	1,900	1,931	1,905	1,691
	金額	211,096,000	204,472,000	203,912,000	204,680,000	182,824,000

区 分		12月期	H27.1月期	計
肉用種	頭数	228	303	3,792
	金額	16,416,000	21,816,000	273,024,000
交雑種	頭数	1,164	1,280	15,467
	金額	139,680,000	153,600,000	1,853,820,000
乳用種	頭数	268	426	3,765
	金額	21,440,000	34,080,000	316,480,000
計	頭数	1,660	2,009	23,024
	金額	177,536,000	209,496,000	2,443,324,000

* 交雑種には雪害支援対策での積立金免除牛74頭含む。

注) 2～1月期は4月～3月造成

④肥育牛補填金交付実績

(単位：頭、円)

区 分		H26.2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉 専 種	頭 数	276	289	303	257	242
	単 価	0	0	0	0	2,900
	金 額	0	0	0	0	701,800
交 雑 種	頭 数	1,186	1,283	1,383	1,222	1,237
	単 価	47,400	60,000	36,700	39,400	63,500
	金 額	56,216,400	76,980,000	50,756,100	48,067,600	78,152,000
乳 用 種	頭 数	310	322	321	330	326
	単 価	51,900	61,300	44,300	45,700	48,900
	金 額	16,089,000	19,738,600	14,220,300	15,081,000	15,941,400
計	頭 数	1,772	1,894	2,007	1,809	1,805
	うち交付	1,496	1,605	1,704	1,552	1,805
	金 額	72,305,400	96,718,600	64,976,400	63,148,600	94,795,200

区 分		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期
肉 専 種	頭 数	320	216	292	321	439
	単 価	5,900	24,200	0	0	0
	金 額	1,888,000	5,227,200	0	0	0
交 雑 種	頭 数	1,323	1,202	1,297	1,473	1,538
	単 価	72,500	67,200	62,000	33,400	22,200
	金 額	95,589,900	80,707,200	80,305,500	49,122,600	34,126,800
乳 用 種	頭 数	361	306	343	292	334
	単 価	54,300	58,800	65,400	64,200	48,500
	金 額	19,602,300	17,992,800	22,432,200	18,746,400	16,199,000
計	頭 数	2,004	1,724	1,932	2,086	2,311
	うち交付	2,004	1,724	1,640	1,765	1,872
	金 額	117,080,200	103,927,200	102,737,700	67,869,000	50,325,800

区 分		12月期	H27.1月期	計
肉 専 種	頭 数	628	207	3,790 (うち交付 778)
	単 価	0	0	—
	金 額	0	0	7,817,000
交 雑 種	頭 数	1,605	1,086	15,835 (うち交付 15,835)
	単 価	29,600	21,900	—
	金 額	47,508,000	23,783,400	721,315,500
乳 用 種	頭 数	311	275	3,831 (うち交付 3,831)
	単 価	54,800	58,100	—
	金 額	17,042,800	15,977,500	209,063,300
計	頭 数	2,544	1,568	23,456
	うち交付	1,916	1,361	20,444
	金 額	64,550,800	39,760,900	938,195,800

注) 2～1月期は4月～3月交付

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)

- ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク(LIN)上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。
- ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。：3団体
- ・県内の畜産団体と近況把握、情報共有のための連絡会議を実施、又は関係会議への出席により、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
- ・家畜衛生体制強化を図るため、衛生体制強化基金事業を実施した。
- ・畜産経営支援に必要な各種調査を実施した。(畜産動産担保融資活用アンケート調査、肉用牛アニマルウェルフェア調査、快適性に配慮した家畜の飼養管理調査)
- ・経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。

- ② 畜産特別資金推進指導 ((公社) 中央畜産会補助金)
 畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行なうとともに、県段階で設置している協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。
- ・現地検討会・指導会の実施 延べ12回122人(田原市)
 対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
 肉牛農家1戸(畜産経営維持緊急支援資金)
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催 1回(平成27年3月12日 名古屋市)
- ③ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財) 畜産近代化リース協会委託金)
 畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。
- ・調査指導件数 20戸、23基 (H26.12月～H27.3月)
 (半田市2戸、常滑市1戸、豊田市1戸、豊橋市10戸、田原市6戸)
 - ・普及啓発資料作成 400部
- ④ 畜産団体調整機能強化 ((公社) 中央畜産会委託金)
 畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す中で、将来にわたり本県の畜産を担う生産者を参集し、近年問題となっている家畜疾病の防疫を題材に、将来的な畜産への展望について意見交換を実施した。
- ・懇談会・意見交換会等の開催 1回(平成27年3月25日)
 懇談会テーマ：飼養管理現場での防疫の今後
 情報提供：県農林水産部畜産課「家畜疾病の発生状況と対策」
 講演：(独)家畜改良センター岡崎牧場「農場消毒とバイオセキュリティ」
 意見交換参加者：生産者6名、情報提供者2名、県・団体関係者7名、畜産コンサルタント 1名 計16名
- ⑤ 農場HACCP認証普及推進支援 ((公社) 中央畜産会委託金)
 現地での必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、農場HACCPシステムの効率的な構築への取組を支援し、地域の中核となる農場を育成し、農場HACCP認証の普及を図った。
- ・農場取組調査：1農場
 - ・技術指導者による指導：3回
- ⑥ 地域自衛防疫強化特別対策 (家畜衛生対策推進協議会委託金)
 畜産の生産段階における防疫活動の強化のため、自主防疫活動の普及啓発等による組織活動の充実を図った。
- ・地域自主防疫推進会議の開催 2回(17名) 平成26年8月19日 名古屋市
 平成27年2月27日 名古屋市
 - ・防疫研修会 1回 平成26年9月12日：県と併催(岡崎市) 192名
 「鳥インフルエンザ・口蹄疫県域防疫研修会」
 講演(熊本県畜産課)「熊本県で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫措置について」
 - ・養豚農場防疫演習 1回 平成27年2月9日：中央家保と併催(碧南市) 14名
 「機材を使用した防疫演習」(於：川口農業センター)

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策（(公社)中央畜産会委託金）

馬の防疫体制確立に向け、関係者・関係機関と連携して委員会、ならびに講習会を開催するとともに、競走馬以外の馬の地域馬獣医療体制の実態を把握するための実態調査を実施した。

- ・馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催：1回(平成26年12月8日名古屋市・10名)
(愛知県、競馬組合、獣医師会、馬主協会、馬術連盟)
- ・馬飼養衛生管理技術講習会の開催：1回(平成26年12月8日名古屋市・18名)
「馬の蹄病について」
- ・地域馬獣医療実態調査 22ヵ所(回答ヵ所)

ウ 畜産物に関する理解情勢・情報提供

① 畜産物に関する理解情勢・情報提供（名古屋競馬株式会社補助金）

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

(参考)

- ・畜産フェスタの開催
期 日：平成26年11月1日
開催場所：刈谷市（刈谷ハイウェイオアシス）
畜産物の配布：ハチミツ、牛乳入りパン、キーマカレー、燻製うずら卵
- ・畜産フェアの開催
期 日：平成26年12月23日
開催場所：名古屋市(名古屋競馬場)
畜産物の配布：名古屋コーチンカレーとスモークチーズのセット(500)
全酪6Pチーズと燻製うずら卵のセット(500)

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰事業基金

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・高橋養鶏賞選考委員会 平成26年5月27日
- ・第39回高橋養鶏賞受賞者 船橋史憲 氏（技術研究部門）
- ・高橋養鶏賞表彰式 平成26年6月26日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・3団体催事：賞状2点、副賞6点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

- ① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策（(独) 農畜産業振興機構補助金）
肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。
- ・増頭奨励金交付対象頭数 15頭
(JA 愛知東9頭、JA あいち尾東2頭、JA あいち三河4頭)
 - ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合
(愛知東農業協同組合：肉用牛ヘルパー利用組合)
実績・・・飼養管理 152時間
飼料生産関係 967.5時間 ロール運搬312個
家畜市場関係（市場内引回し等）694頭

イ 家畜防疫支援に関する事業

- ① 家畜生産農場清浄化支援（農林水産省補助金及び手数料）
慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。
また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。
- ・生産農場清浄化支援対策事業検討会 1回(平成26年8月6日 名古屋市)
 - ・オーエスキー病清浄化対策（オーエスキー病清浄種豚流通促進対策）
対象農家戸数 2戸(新城市、田原市)
抗体検査・陰性証明書発行頭数 1,171頭
 - ・ヨーネ病防疫講習会の開催 1回(平成27年2月26日 岡崎市)
 - ・牛白血病防疫講習会の開催 1回(平成27年2月26日 岡崎市)
 - ・牛白血病抗体検査 878頭
 - ・伝染病予防ワクチン接種状況 牛 計 6,812頭
 - ・牛異常産三種混合ワクチン 3,367頭
 - ・アカバネ病単味ワクチン 3,445頭
 - ・農場飼養衛生管理対策事業検討会 1回(平成26年9月29日 名古屋市)
 - ・農場飼養衛生管理強化推進講習会 2回(平成26年10月31日 武豊町)
(平成27年 3月19日 岡崎市)
 - ・疾病流行防止支援対策検討会 1回(平成27年3月17日)
 - ・協会独自事業(家畜衛生事業)
 - ・予防ワクチン接種事業 牛 計 39,599頭
 - ・イバラキ病生ワクチン 7,892頭
 - ・伝染性鼻気管炎ワクチン(IBR) 2,527頭
 - ・牛五種混合生ワクチン 8,973頭
 - ・牛五種混合不活化ワクチン 1,575頭
 - ・牛六種混合ワクチン 5,356頭
 - ・ボツリヌスワクチン 13,276頭
 - ・疾病講習会（ボツリヌス病） 1回(平成26年10月31日 武豊町)

② 家畜防疫互助基金造成等支援 ((独) 農畜産業振興機構補助金)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

【加入状況】

(H27.3.31現在)

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	144	14,724	3,505,710
肉用牛	198	36,374	5,303,285
牛 計	342 (うち乳肉60)	51,098	8,808,995
豚	109	199,168	10,276,905
合 計	391	250,266	19,085,900

【加入率】

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	373	28,600	395	46,700	219	349,900
契 約	144	14,724	198	36,374	109	199,168
加 入 率	39 %	51 %	50 %	78 %	50 %	57 %

事業推進会議等の開催 2回(平成26年8月19日 及び平成27年2月27日 名古屋市)

③ 海外悪性伝染病対策支援(自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜：牛、豚
- ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等

④ 生産地等馬伝染性疾病防疫強化特別対策((公社)中央畜産会委託金)

馬産地等における伝染性疾病の防疫強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種助成及び新興感染症対策の普及啓発の検討を行った。

- ・対象施設 14 施設、 198 頭(乗用馬)
- ・馬防疫地域推進対策検討会の開催 2回(平成26年9月29日 名古屋市)
(平成26年12月8日 名古屋市)
- ・在来馬馬伝染性貧血清浄化推進：調査3カ所

2 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分(面積比)により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。

3 その他事業

(1) 他 1 畜産関係団体の事務局を運営する事業

ア 愛知県和牛改良協会の事務局

公益社団法人全国和牛登録協会の地方審査員の資格をもつ当協会の職員が、専門知識を発揮するとともに中心となって、業務受託により協会の事務局を運営した。